

平成18年度 市政懇談会の意見要望 [高林公民館]

平成18年8月8日

意見・要望	担当課	懇談会場での回答
<p>猿・熊の農作物被害対策について 今年も、鳴内では猿・熊の被害がでています。市へ連絡をして、檻を設置したが、なかなか捕まらずに被害が続いている。市ではどのように考えているのか。農業で食べているので、このままですと生活が成り立たなくなってしまうため、獣害対策を早急をお願いしたい。県で猿の害に対する新しい対策が開発されたようなので、そういったことを調べてもらいたい。鳥獣保護はわかりませんが、一度罠にかかった熊がもどってきてしまうのが現状なので、早急な対策を再度お願いをしたい。</p>	<p>本庁 農務課</p>	<p>熊の状況については、本年は熊の出没が多く、現在までに34件の被害の報告があります。7月下旬から毎日のようにとうもろこしに被害がでています。対策としては猟友会と連携をとり、黒磯・塩原地区で12頭捕獲、内黒磯が8頭、塩原が4頭、黒磯の4頭は放獣、塩原の1頭を放獣しています。去年は全体で5頭でしたので数が増えております。西那須野地区でも那須疏水に2頭死骸があがっており、実質合計14頭となり、その後も被害が続くことから、黒磯地区に11箇所、塩原地区に3箇所、西那須野地区に2箇所合計16箇所に罠を仕掛けています。今年、県と協力して前湯宮地区に熊用の500m電気柵を設け、モニターカメラを設置して先週から監視を始めています。</p> <p>猿の被害については、対応策が難しいものがありますが、発信機等を付けてやっており、年間を通して駆除をお願いしています。できるかぎり県の協力を得ながら対策を行っていきたい。</p> <p>放獣については、手負いの熊以外は、原則として捕獲2回までは放獣するという県の指導があります。</p>
<p>田舎ランド鳴内の運営について 市でももう少し人手を増やしてほしい。現状の人数では、対応に限界があるので、職員数を増やして、内容を検討してよく考えてほしい。 職員は電話番号だけをやるのではなく、使える職員がいないと何もできません、それでは大変困るので、早急に対策をお願いしたい(要望)</p>	<p>黒磯支所 教育課</p>	<p>当初の計画では5000人程度の予定が、13000人強の利用があります。主催事業も土日に多くやっていますので、現在は職員1人臨時職員2人の計3人で、他に黒磯の支局から週2・3回一緒にやっている状況です。職員の対応も考えざるを得ないと思っていますが、年度途中でもありますので、時間をいただければと考えています。</p>
<p>第2期ごみ処理センターの進捗状況について 蛇尾川に清掃センターができるらしいが、その後の状況が市民に知らされていないようなので、状況がよくわからない。安全な施設であるのであれば、どこにつくっても心配は要らないと思うので、産業団地など、もっと黒磯・西那須野に近いところに施設を造るべきだと思う。 清掃センターができれば、ごみの搬入のために交通量も増えると思われるので、道路も整備していただかない</p>	<p>本庁 環境課</p>	<p>現在、周辺の6地区の皆さんと説明会を含めて話し合いをして、協定を結んでいきたいと思っています。見通しをつけてからでないと、工事に着手できないと考えていますのでご理解いただきたい。</p> <p>都市計画決定の法的作業、用地取得地の隣接者との話し合いや、緑地保全の関係地権者との話し合いなどがあまして、確かに建設業者のトラブルはありますが、それだけで仕事が進まないわけではありませぬのでご理解いただきたい。</p> <p>位置の問題については説明会でも説明もしていますが、旧3市町で地区の選定をしてきた経過があり、その中であのあたりが最適であろうと決定をし、</p>

平成18年度 市政懇談会の意見要望 [高林公民館]

平成18年8月8日

意見・要望	担当課	懇談会場での回答
<p>とデメリットばかりでは地元としては納得できない。 (要望)</p>		<p>広域行政で18年の3月に用地の取得が済んでおります。 今週も区長さんたちとお話をしながら、進行状況などそこから情報を伝えていきたいと思っております。 清掃センターへの搬入路については指定をしたいと思っております。道路整備を県にも要望し、道路の再整備も必要かと思われるので、十分検討していきたい。皆さんにご迷惑がかからないよう努めてまいります。 清掃センターができることで地域振興が可能かといった問題がありますが、市民の環境教育の現場として活用していきたい。清掃センターにおいて環境に対する学習を子ども達や、保護者にさせていただき、住みよい街づくりに役立つのではないかと考えます。</p>
<p>(要望) 市政懇談会の要望・意見結果を随時知らせしてほしい。 懇談会での要望をすぐ実行するのは予算がからむのでむずかしいでしょうが、要望を聞いただけでなく、昨年の結果を連絡・報告していただきたい。</p>	<p>秘書課</p>	<p>意見要望の処理経過については、平成17年度から意見を集約し、一部広報に掲載をさせていただいております。 各公民館には全ての意見とその回答、予算の状況を備え付けておりますので、PR不足で大変申し訳ありませんが、ぜひご覧になってください。</p>
<p>洞島青木線の歩道整備について 昨年も要望としてお願いしましたが、現在、青木小の学童にとってあの場所が一番危険な場所で、道が狭く大型車が通ると子ども達は歩けたものでない。今のところ、事故はおきていませんが、こういった状況をお聞かせいただきたい。駄目な場合の理由も聞かせてください。</p>	<p>本庁 道路課</p>	<p>青木小裏から中村商店までの箇所だと思われていますが、現在のところ、平面測量を終了し、那須塩原市道路基本計画に基づき整備する予定です。 早い時期に計画をして整備したい考えですので、ご了解いただきたい。</p>
<p>国会等の移転について 現在の状況はどうなっているのか。国会ではなく、国会会議室等か何かのほうがよいのではないかと。</p>	<p>企画情報課</p>	<p>国会の議員協議会の中で、座長取りまとめと言った形はあるようですが、現時点では具体的な話はありません。国の考え方も国会機能を全て移転するという考え方から、危機管理に目的が変わってきている。国の様子を見ながら、対応を図っていきたい。</p>
<p>(要望) 青木の産廃設置問題について対応をよろしくをお願いします。</p>	<p>本庁環境課</p>	<p>要望として承ります。</p>

平成18年度 市政懇談会の意見要望 [高林公民館]

平成18年8月8日

意見・要望	担当課	懇談会場での回答
<p>板室簡易水道の本管工事について 簡易水道が引かれてから約40年経ち、本管の漏水が3箇所ほどある。2・3年後に工事する予定があると聞いたが、実際にはどうなっているのか、もっと早く対応できるのかお聞きしたい。</p>	<p>水道管理課</p>	<p>確かに最近、板室本村だけでなく、黒磯でも漏水箇所が多くあり、古い管は毎年500件の漏水修理をしているのが現状で、漏水の多くある箇所から直してしていきたい。 具体的に2・3年後ということはいえませんが、状況を確認して、ご迷惑が少なくなるような方策を検討していきたいのでよろしくお願いします。</p>
<p>青木の産廃処分場における水質汚染問題について 産廃施設が建設された場合色々な問題が数多くでるとされる。私のところは水道ではなく地下水を利用しているので、水の汚染が一番怖いと思っている。全国的に、実際にいくつかの流水事故などがあって、その水が地下水に浸透している。ぜひ市としても何らかの形で取り組んでほしい。(要望)</p>	<p>本庁 環境課</p>	<p>ご心配の件は十分認識し、市としても皆さんと同じ気持ちでこの問題に、取り組んでいるつもりです。法体系上は県の許認可でもありますが、5万人以上の署名もあり、そういった重みありますし、住民運動が大きな影響もたらされると思っています。 現在は環境影響評価のための調査準備の段階でして、これから1年ないしは2年最低かかるわけですが、地域だけではこれから長い運動をしていくのは大変だとおの相談受けています。市としては、情報伝達等やノウハウなどの支援はできますので十分協力できると考えています。 産廃の委員会だけでなく、区長会・土地改良区関係農協などが応援をしていくという話も盛り上がっていますし、市としてもこれ以上この地区に産廃施設はほしくないということで、総量規制ということを県に要望をしているところです。われわれも、内部案が提示できるよう内部勉強をしながら、一緒に考え行動していきたいと思っていますので、市民の方々のご協力をよろしくお願いします。</p>
<p>戸田地内の産廃処分場の問題について 戸田地内には3箇所の産廃施設があり、100台近くのトレーラーが往来して危険である。地元でもパトロールを行なっています。さらに2箇所の業者が産廃施設を設置しようとしている。戸田調整池の200m内で、オオタカ繁殖地でもあり、許可を出す前に地域住民の市町村の意見を聞いて、許可を出すよう条例を改めていただきたい。 那須塩原市は酪農地域でコシヒカリの産地でもあるので産廃処分場対応についてよろしくお願いします(要望)</p>	<p>本庁 環境課</p>	<p>われわれも認めているわけではなく、これ以上施設はほしくないというのが基本の考え方です。色々な情報をあげていただき、地元で話が伝わっているか確認をし、市民の皆さんと一緒にやっていきたい。 地元と協定を結ばないと先にすすまないのが基本なので、協定を結んでしまうと同意したと誤解されてしまう。説明会が必ずありますので、必ず出席をしていただき、市も要請があれば出席をしますので、業者のいいようにされることはありませんので、だめだということをしっかり訴えていただきたいと思っています。</p>

平成18年度 市政懇談会の意見要望 [高林公民館]

平成18年8月8日

意見・要望	担当課	懇談会場での回答
<p>(要望) また、残念ながら、点灯式の前に死亡事故がありました。昨年要望した塩野崎・那須線、黒磯・田島線に信号機を早急に設置いただき御礼を申し上げます。</p>	<p>本庁 生活課</p>	<p>残念ながら信号機の柱にぶつかって死亡事故がおけるといった事故で 10箇所全ての死亡事故の現場を確認させていただきました。 今後も交通安全について、訴えていきたい。</p>
<p>国民健康保険税について 中国からの研修生が健康保険加入の手続きをしたが、全国酪農会議所で調べたところ、年齢・金額も同じで、同じ条件にも関わらず、県内外の市町村と比較して、那須塩原市は国民健康保険税が3割以上高い。県内でも1番目に高いぐらいなので、住んでよかったと思える市ではないのではないか。これでは、人口減にもつながるのではないかと。 なぜ他の市町村より3割も高くなるのか理由を分かりやすく説明してください。</p>	<p>本庁 保健課</p>	<p>16年度県内の比較としては、統計上一人当たりの保険料は那須塩原市は上から10番目で、8万6千円となっています。市貝は27番目で、7万7千円ということで、十何パーセント高くなっていますが、条件が違いますので、この場では説明できません。 中国からの研修生の例については、手元に資料がありませんので、確認できませんのでどうして違うのかこの場でお答えできません。 調べて後日、直接連絡をさせていただきます。 (説明済み)</p>

平成18年度 市政懇談会の意見要望 [高林公民館]

平成18年8月8日

意見・要望	担当課	懇談会場での回答
<p>第2期ゴミ処理施設について</p> <p>ごみの適正化減量化といった説明であるが、具体的な姿勢が見えてこない、迷惑施設を造るからには、努力を形としてみせていただきたい。(要望)</p> <p>また、嶋内地区の署名を直接市長に提出したくて、20日間お願いをしたが、30分の余裕がないということで、会ってもらえませんでした。こういう市の対応はどういうものなのか、お聞かせください。</p> <p>焼却場のできる場所は、水源地であり、ダイオキシンの心配はないとの説明ですが、何らの回答もない。ダイオキシンは脂肪に蓄積しやすいので、酪農家にとっては、そのへんがどういう形で問題がでるのか、もし牛乳が売れなくなった場合どうするのか。</p> <p>1日に出るダイオキシンの量を、分かりやすく提示してほしい。</p> <p>人口減に対して、大きすぎる焼却場を造ってしまっただけは、そのためにゴミをかき集めるのが目にみえている。そういった想定は考えずに、はじめに焼却場ありき、ゴミの量が140トン燃す話が先行しているように思われる。</p>	<p>本庁 環境課</p>	<p>提出いただいた地域の署名については、しっかり受け止め、内部で議論させていただきます。</p> <p>ゴミの分別収集については、ゴミ減量審議会にかけ、相談をしながら議論していきたい。その前提として、ゴミの分別について議論させていただき、ご意見についてもその中にとりいれていきたい。その中である程度の方向性ができましたら、説明をさせていただきたい。</p> <p>140トンの決め方については、いきなり出た数字ではなく、ゴミの減量化や人口推計をして計算をして出た数値でありますので、過大な施設を造るものではないと理解しています。機会があれば、説明をさせていただきたいと思っています。地元の説明が足りなかったというご指摘もありますので、真摯に受け止めております。</p> <p>ダイオキシンの問題についても、説明をさせていただいておりますが、国の基準の10分の1以下のダイオキシン量の数値で稼働できるような性能にして、基準を超えた場合は自主的に停止して、地元の皆さんに内容をお知らせし問題を確認し、処置をする協定の素案になっています。具体的な数値量については持ち帰りまして、確認してお答えしたい。</p> <p>市長に直接渡したかったということですが、行事が錯綜しておりまして、お会いできなかったということでもあります。私が代わりに受け取り、市長に内容を説明し、庁舎内の共通認識として検討させていただくことになっていきます。</p>